

理念

1. 信頼される病院
2. 心温まる病院
3. 楽しく働ける病院

基本方針

- 地域における医療福祉の向上につとめ、地域住民のいのちと健康を守ります。
- 地域の中核病院として、地域の医療機関と連携・協調を図ります。
- 二次医療を中心に担当します。
- 医療需要の増大と多様化に対応できる病院づくりを目指します。
- 超高齢社会における治す医療と支える医療の両立を目指します。

医療体験Week

開催レポート

令和5年8月7日(月)～11日(金・祝)の1週間、主に鳥取県東部の高校生を対象とした医師・医療技術職・看護師の職業体験イベントを行いました。各専門職の医療現場を体験することで、将来の進路の参考や、医療職への意欲をはぐくむことを目的としています。

令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症が流行したため体験イベントは中止していましたが、この度、4年ぶりに開催することができました！

5日間で100名もの生徒にご参加いただきました。今回の体験を今後の職業選択の参考としていただけると幸いです。

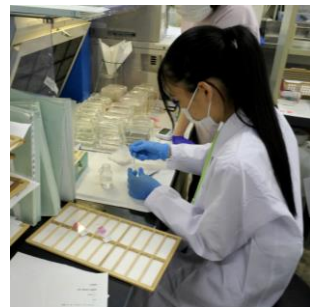
8月7日・10日

医療技術職体験

薬剤師 臨床検査技師 診療放射線技師 管理栄養士
理学療法士 作業療法士 言語聴覚士 臨床工学技士

参加者数(2日間合計) 52名

医療体験Week初日となる8月7日と10日に、医療技術職を対象とした医療体験が行われました。それぞれの職種によって体験できる内容は異なりますが、薬剤師体験では、実際に処方箋から薬剤を計量したり、検査技師体験では、検体を顕微鏡で見るまでの手順をひとつお行ってみるなど、各業務の一部を体験したり、院内の見学や、医療機器の説明も行われました。仕事内容の説明を受けた生徒から、思った以上に業務内容の広さに驚いたとの感想も聞かれました。また、これからの進路・就職や資格取得についての質問のやり取りもされていました。



検査技師の仕事をよく知らなかったが、今回の体験で仕事の種類や仕事量の多さに驚いた。

(臨床検査技師体験)

調剤業務以外にも、さまざまな職種の方とチームを組んで働いておられる姿は魅力的でした。

(薬剤師体験)

8月8日・9日

看護師体験

参加者数(2日間合計) 31名

看護師体験では、看護師の仕事内容の説明、院内見学、手術室の見学や防護具装着体験、病室での業務体験などが行われ、最後に看護師と直接話す会を設け、質問などで会話に花を咲かせました。



手術室見学・防護具装着

まずは当院手術室の紹介としてグルッと見学。その時ちょうど手術中の部屋を外から少しだけ覗いて見ることができました。実際の手術現場に熱い視線が・・・!

また、手術前の手洗い体験や、手術時の防護具を実際に装着してみました。実際に手術に用いる手袋は、なかなか装着できず苦戦しているようでした。最後にガウンを着用して記念撮影📷



病室業務体験

患者さんに対して実際に行っている看護手技を体験しました。看護師役と患者役に分かれ、日々の体調観察に欠かせない血圧測定や、床ずれを予防するための体位変換などを行いました。また、高齢な方など飲み込む力が弱い人に対しては、とろみがあると飲み込みやすくなると説明を受けた後に、水分摂取も兼ねて実際にとろみのある水を飲んでみました。普段飲んでいる水との違いを確認しました。



現場を見たり体験できたことでより将来の仕事のイメージができて、良い体験となりました。

(看護師体験)

看護師さんがどんなことを気をつけて患者さんと向き合っているかを知れて良かった。

(看護師体験)

先輩の看護師さんからのお話も聞くことができて、将来のいい参考になりました。

(看護師体験)

初めて手術室を見学して、実際の手術の様子が見られたことが印象に残りました。

(看護師体験)



8月11日

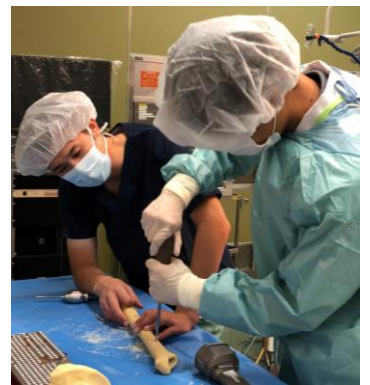
医師体験

参加者数 17名

医師体験では、ダヴィンチ操作体験、整形外科関連体験、内視鏡操作体験や一次救命処置体験が行われ、最後は医師・医学生に気になる疑問や体験談などを聞いたり、和やかな時間を過ごしました。

ダヴィンチ操作体験 & 整形外科関連体験

手術室では、手術に用いる医療機器を使用した体験が行われました。ダヴィンチ操作体験では、鉗子を操作してビーズやリングをつかむ動作を体験しました。いくつかミッションが設けられていたため、夢中になって操作している様子でした。その他にも、縫合体験や骨の模型にドリルで穴をあける体験など手術手技の実技も行いました。



医師をこころざす上で、非常にモチベーションも経験値もあがる1日となりました。

(医師体験)

医師や医学生の方のお話をきくことができ、自分の進路がより明確なものになったと思う。

(医師体験)

ネットで調べたり人から聞いたりするだけでは知ることのできない医療の世界が体験できました。

(医師体験)

体験を通して自分が思っていたより技術が必要なものが多くて、医師の方々の大変さが分かった。

(医師体験)

一次救命処置体験 & 内視鏡操作体験

目の前で人が倒れていたらという想定で、一次救命処置体験を行い、ALSシミュレータを用いてAEDを使用したり、聴診や脈に触れたりしました。また、内視鏡操作体験では、内視鏡シミュレータ内に置かれたクリップなどの異物をスコープで見つけ出し、取り出す体験が行われましたが、内視鏡スコープの操作が難しいようで、苦戦しているようでした。

